

～令和6年(2024年)度 助成校の先生方から～
ご意見や全国の学校へメッセージ

- ここでもしか学べないことがたくさんあります。ぜひ参加して、学びを深めてほしいです。
- 子どもの主体性を育てることの大切さを強く再認識することができました。N 助の有効性を意識しながら今後も取り組んでいきたいです。
- 綿密なプログラムで、多くの人との関わりが学びと刺激、意欲を与えてくれます。ぜひ積極的に参加してほしいです。
- プログラムでの学びを生かし、地域の課題や現状を理解し、自分自身の課題として取り組むようになりました。
- 気仙沼の学校の実践を体感し、「命を守る教育」を通した持続可能な社会の担い手の育成の大切さを学びました。
- 本物を知ることで、これまでの受け身の姿勢から脱却することができました。ここでもしか経験できない学びを生かして、子どもたちや地域とともに減災を活性化させていきたいです。
- 自分の目と耳で本物を体感することの大切さを痛感したからこそ、クラスの子どもたちに本物から学ぶことの重要性を伝えることができました。
- 未来を創る子どもたちへの防災・減災について深く知る機会となりました。熱い思いを語り合う中で、新たな人とのつながりができました。全国には同じ志をもった先生がたくさんいることを実感できます。
- 防災・減災にひとりで考え込んでいる先生がいたら思い切って参加してください。多くの仲間や協力者とつながることができ、きっと悩みの解決策が見つかります。
- 防災・減災への当事者意識を持つことの大切さを実感しました。災害に対して、子どもたちが当事者意識を持てるよう取り組んでいきたいです。
- 子どもの命を守りたいという本気度がさらに増します。学んだことを学校に持ち帰ることで、100 人の子どもや周りの人が変わります。
- 教員研修会で出会った学校と、子どもたちがオンラインで交流を深めるようになりました。普段、出会う機会のない地域の子どもたちが、防災・減災を通して主体的に学びあう意識が高まりました。
- 管理職として参加しましたが、自校の防災・減災のカリキュラムマネジメントの改善に参考となる実践事例や理論を学ぶことができました。ぜひ、管理職の先生にも参加いただいて、現場を見て、本物を感じてほしいです。